

# えんがわ

第96号

2015年3月発行

発行元  
衣笠病院グループ  
衣笠須賀市小矢部  
2-23-1  
Tel 046-852-1182

## 肺炎球菌ワクチン

高齢化に伴う日本人の死因第三位は肺炎となっており、肺炎の治療成績自体は改善してはいますが、年齢と共に急激に増加する肺炎の死亡率と高齢者人口の増加が主因となっています。肺炎の予防対策が必要な理由です。肺炎の様々な原因微生物のうち、三〇%前後が肺炎球菌です。高齢者の肺炎予防には肺炎球菌ワクチンの接種が重要です。ワクチンはそれ自体有害ではない菌体の一部を接種することで人体に抗体を作らせま

す。実際に菌が侵入した際、予め出来ている抗体により効率的に菌は排除されま

種類あり、菌体を覆うキウ膜の多糖体そのものと多糖体にタンパクを結合したものがありません。前者が一般に高齢者の肺炎球菌ワクチンとして接種されているもので、後者は六歳未満の小児に接種されているものです。多糖体にタンパクを結合することにより、強い免疫反応が起こり未熟な小児にも抗体産生を可能にします。二〇一四年六月からはタンパク結合型ワクチンも高齢者の肺炎球菌肺炎予防のために使用出来ます。最後に肺炎球菌ワクチン単独ではなく、インフルエンザワクチンも接種することで肺炎の予防効果はより高まることを付け加えます。

衣笠病院 内科  
主任医長 橋本 和昌

## えんがわ在宅 ひとくちメモ

### 地域ケア棟とは？

昨年、八月から開設している地域包括ケア病棟は、手術や検査が終了した後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さんに対して、しばらくの間、入院療養を継続し、在宅復帰に向けての準備を整えるための病棟です。もう少し入院による治療や経過観察が必要な方が対象で、入室六〇日以内での退院が原則となります。一般病棟では、治療内容や病名によって算定点数が変わりますが、地域包括ケア病棟では一般病棟での計算方法と異なり一定の点数で六〇日間を算定します。入院窓口にあります

のご家族の方がいらつしやいます。急に入院となりとまどっている方、慣れない入院生活に不安を抱えている方、又、入院することに慣れて手続き等もスムーズな方もいらつしやいます。病院での生活は、少なからずストレスの伴うものだと思います。住み慣れた自宅での生活は、誰もが願うことではないでしょうか。

衣笠病院 医事課

鈴木 優子



出会いと別れの季節ですね。春の木漏れ日が注ぐえんがわで、目をつむるとい